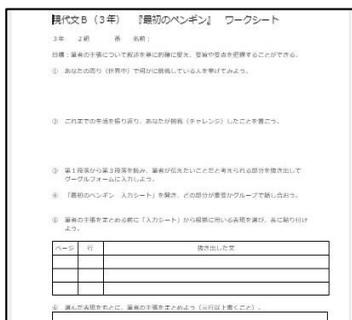
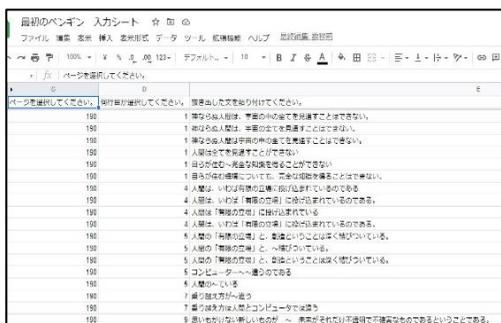


【筆者が伝えたいことは何かの意見を集約する】



ワークシート例



筆者が伝えたいことだと考えられる部分を集約したもの

活用場面

個別学習

個に応じた学習

協働学習

協働での意見整理

活用した機器等

Chromebook

活用したアプリ等

Google Classroom
 Google スプレッドシート
 Google ドキュメント
 Google Forms

学習のねらい

現代文の評論『最初のペンギン』を題材として、筆者の主張について叙述をもとに的確に捉え、話し合いなどを通して要旨や要点を把握する。

学習の流れ

導入 自分の周り（または世界）で何かに挑戦している人を挙げ、クラスで共有する。
 外国では、そのような人々が「最初のペンギン」として称賛されていることを知る。

展開 本文を読み、筆者が伝えたいことだと考えられる部分を抜き出し、各自でGoogle Formsに入力する。
 それぞれの意見が集約されたGoogle スプレッドシートを見ながら、さらに、特にどの部分が伝えたいこと（大事な部分）であるか話し合う。

まとめ 話し合いを通して、主張の根拠となるものをGoogle スプレッドシートから選び、その根拠をもとに筆者の主張をワークシートにまとめる。

ココでICTを活用！

- ① Google Formsで個人の意見を集めた。
- ② ①で集約した意見をGoogle スプレッドシートに出力し、ソートすることで、似た意見・多い意見を可視化できるようにした。
- ③ ワークシートをGoogle ドキュメントで作成し、Google Classroom を通じて配付・回収した。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

Google Formsでの意見集約によって、他の生徒の答えを見せることなく、個人で考えさせることができる。また、集約した意見をGoogle スプレッドシートで出力し、意見を整理することで、生徒が重要だと考えている内容をその場で即座に可視化できる。それにより、教員の集約作業の負担が減り、生徒の意見集約・共有の時間を短縮し、話し合いに時間を多くあて、読みを深めることにつながられた。

Google Classroomを通じて、ワークシートの配付・回収を行ったことで、ペーパーレス化でき、提出状況がすぐにわかる。教員も生徒も慣れるまでは少し時間がかかるが、慣れると時間短縮につながる。